

青少年育成を考えよう 親と子の井戸端会議 開催

青少年育成奥出雲町民会議の主催で三月十九日、「奥出雲町の子どもの生活実態を考える」シンポジウム・親と子の井戸端会議が横田コミュニティセンターで開催されました。

基調報告では、町内の小学四年生から高校三年生までの千四百十九人に、起床、就寝、食事などの生活習慣、あいさつ、様々な活動への参加意欲など地域社会とのつながり等事前に実施した生活実態調査の結果報告がありました。結果からは、子供たちが家庭、地域に愛着をもって、の

びのびと育ってくれていることがうかがえました。

続いて山陰中央新報社販売担当局長の河野徹夫氏をコーディネーターに町内の学生、保護者の代表、また特別パネラーとして一九六〇年代に「じゅん&ネネ」のグループ名で歌手デビューした早苗ネネさんをお迎えしてのパネルディスカッションが行われました。

子供の立場からは、「親の押し付けはイヤ」、「人生経験は面白いけど、何回も同じことを言わないでほしい」などの意見が、保護者側からは「携帯電話を買ってくれと言われるがとにかく心配。親の気持ちもわかってほしい」、「自分のことだけを考えず、周りの人への感謝の気持ちも持つてほしい」など多くの意見が出されました。

当日参加した約百五十人は、本町の青少年健全育成を進めるため熱心に聞き入っていました。



▶意見交換を行う学生の代表者

夢に向かって六十六人が入学

島根リハビリテーション学院 入学式

第九回島根リハビリテーション学院入学式が四月八日、カルチャープラザ仁多において開催されました。

今年も、和歌山県から沖縄県まで全国各地からの療法士を目指す六十六人の新入生を迎えました。

リハビリ学院では、四年課程のため昨年度から卒業時に大学院受験資格の「高度専門士」の称号が付与されており、社会からの期待が一層寄せられています。

式典では下山学院長が「療法士になるため自分の未知の能力を存分に発揮し、学習してほしい」と告辞を述べ、これからの厳しい勉強に向かう新入生を激励しました。

これを受け新入生を代表し理学療法学科の高尾明宏さんは「この学院で学べることに誇りを持ち、確かな知識、技術を身につけ、社会貢献したい」と力強く誓いの言葉を述べました。



▶誓いの言葉を述べる新入生代表の高尾さん

島根デザイン専門学校でも入学式

島根デザイン専門学校、併設する奥出雲工芸房でも四月七日、入学式が行われました。

今年度からガーデニング科を新設しカリキュラムが一層充実されたこともあり、全国から九人の入学生がありました。

式では、新入生の呼名、小林学校長の式辞、多くの来賓を代表し岩田町長の祝辞などが行われました。

が行われました。

沖縄県出身の米須美枝さんは「ともに支え学びあって、それぞれの夢に向かって取り組んで行きたい」と新入生代表の宣誓を行いました。



▲呼名を受ける新入生の皆さん

両校に入学した新入生の皆さんには、奥出雲の恵まれた環境のなかで、自分の夢に向かって日々研鑽努力してくれることを期待します。